

平成 26 年度第 1 回花巻市教育振興審議会 質疑応答

○報告事項

質疑なし

○教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

・ 1-(1)-5 保育園・幼稚園維持修繕事業について

小野寺委員 保育園の修繕事業については、各園の要望を吸い上げたうえで現場を確認しながら行われていると認識している。小学校については耐震調査や各学校の修繕要望を吸い上げて計画的に対応していると説明があった。全体として考えた時に、保育園・幼稚園は法人立・認可外・私立・公立それぞれからの要望の吸い上げを行ったうえで各園への安全管理の指導や教育委員会として現場に入って調査をしている経過等があれば現状を聞きたい。また、今後のところで何か調査等検討しているのであれば聞きたい。

高橋部長 保育園の修繕については、毎日子どもたちが生活しているところであるので、小規模な壊れであればその都度現場から連絡をもらい、職員が現場を確認し、小規模修繕で済むものについてはすぐ対応している。大規模な修繕については、予算との兼ね合いもあるので、全体の計画を立てて、現地を確認し緊急度を見ながら、毎年計画的に進めている状況。耐震については、保育園はほぼ平屋であり法的に改修義務を負わないということもあるが、非構造部材である蛍光灯等は落下しないように計画的に修繕している。法人立の保育園に関しては、今年度から教育委員会の所管になっているが法人立での修繕になる。昨年度は矢沢保育園の施設改修が行われ、県と国それから市で助成した。国の補助事業を利用しながら、法人の保育園と相談して進めることになる。

○花巻市教育振興基本計画実施計画(平成 26 年度～平成 28 年度)について

・ 花巻市教育振興基本計画実施計画全般について

尾美委員 平成 26 年度から平成 28 年度の事業についての計画が掲載されているが、平成 27 年度・平成 28 年度からスタートする事業は掲載されないのか。例えば、大迫中学校の改築事業は掲載されていないが、平成 29 年度以降と解釈していいのか。

市村課長 計画の作り方として、3か年の実施計画ということだが、基本的に平成 26 年度に着手している事業で、それ以降も継続していくと思われる事業を掲載している。大迫中学校の改築事業については、現在建設場所の選定をしており、具体的な場所が決定されていないため予算計上に至っていない。場所が決まり次第、主要な経費を例えば年度途中でも補正で計上したいと考えている。資料に掲載されていないまだ課題がある事業は、平成 28 年度・平成 29

年度以降に実施するというのではなく、それぞれの課題をクリア後、予算を計上する。ここでは、今の時点で予算に計上されているものを事業として挙げており、大迫中学校の改築事業については条件が整い次第進めていく。

・ 1-(1)-1 小中学校学区再編成等調査事業について

尾美委員 ずっと調査事業として継続事業になっているが、終期の見込みはあるのか。

市村課長 これまでも東和の小学校を統合したり、外川目小学校を大迫小学校に統合したり、前田小学校を湯口小学校に統合したりと実績を積んできた。笹間第二小学校と笹間第一小学校の統合については平成 19 年度から提案しているが、地域の方々からぜひ小学校を残してほしいと言われており、まだ合意を得られていない。子どもの学習環境のために、小学校であれば複式を解消すること、中学校であれば教科の先生を確保することや部活動を円滑に進められるようにするという平成 18 年度からの方針を変えてはいないが、地域の反対を超えてまで統合するものではない。笹間地域の方々からは一昨年度話し合いをした時に、地域がその気になったら教育委員会に申し出るので、それまでは地域に学校を残してほしいというような話があり、今は進んでいない状況。一方、全市的な視点で見ると、小中学校合わせて5年で1,000人減るという見通しも出ており、一定の規模を確保するためにはこれからも再編は避けては通れないものであり、終期は今のところ設定できていない。学校再編が必要な場合であっても、あくまでも地域の方々の合意をいただいてということになるので、粘り強く地域の皆さんの理解をいただきながら、統合の合意を得られたところから再編を進めていく。

・ 1-(3) 学力向上の推進について

伊藤委員 報告事項の中で中学1年生の学力低下とあったが、中学校の教育は小学校の段階からというお話があり、中学生の子を持つ一人の親として私もそう考えていた。小学校の段階から学校の先生方には熱心に児童に向き合っていたが、もう少し中学校に向けての意識づけを加えてほしい。ほかの事業費に比べ、学力向上推進に関しての事業費が少ないのではないかと思う。保幼小の接続期のカリキュラムの項目を見させていただいたうえで、小学校から中学校への接続に関する教育について、何か考えていることがあるのであれば教えてほしい。子どもたちを見ていてもつたいないと思う。こういった環境、文化財に恵まれた、住みよい花巻にいなながらも、学力への意識が低いことを残念に思っている。勉強すること・学ぶことが楽しいと子どもたちが思うような教育を行ってほしいというのが、親からの目線として強く思っているところである。教育は人によって作られていくと思う。事業の8項目を見ても素晴らしい内容だと思うので、それに加えてもう少し踏み込んだ教育をしてほしい。一人一人ではなく教育は全体の連携だと考えているので、その連携にみんなを巻き込むようにしたらよいと思う。例えば、創造性豊かな芸術文化の振興の部分で子どもたちに着目させたり、この子どもならこの部分に興味があるのではないかという提案をして、教育に関する動きが家庭内でも見えてくればとても素晴らしいことである。小学校から中学校に向けての連携に関する学力向上へお考えがあればお聞かせ願う。

菅野課長 学力向上の推進について、指導運営費の中に授業実践公開研究会の実施とある。市内の各地区を6つのグループに分けて、毎年その中の1校で授業実践公開研究会を実施している。小学校が授業公開をする場合は、中学校の先生も一緒に研究会に入ってもらい、実際に運営する場合、授業が小学校であれば司会や記録をする先生をグループの中の中学校の先生にお願いし、研究会当日だけでなく小中学校の先生と一緒に研究する場を設けるようにしている。平成22年度からスタートした事業であり、着実にグループ内での交流ができており、小学校と中学校の先生と一緒に場で研究・協議をすることによって、それぞれの地域の良さや課題を理解し、どのように学区の子どもたちの力をより伸ばせるだろうかということについて授業を実際に見ながら、討論し研究していくということを積み重ねているところである。

小学校5、6年生から中学校1年生へというのは、非常にギャップのあるところであり、中学校に入学する時は学習面や部活動等でいろいろ大きなハードルがあるところであるが、お互いに小中学校の先生方が1つの授業を見て、協議することによって、子どもたちの姿から学ぶということを地道に継続していくことによって、教員の授業力が向上しそれが子どもたちに伝わっていくのではないか。もう1つ、学力向上支援の事業として、外部講師をお招きし、授業をしていただく取組みをしている。今年度は3人の講師を予定しており、小学校では理科の先生、中学校では社会と英語の先生をそれぞれ盛岡や東京から招き、小学校と中学校の先生がその授業を見て学ぶ。実際に来週東和中学校で英語の授業があり、この授業は中学校の先生だけでなく小学校の先生にも見てもらい、小学校で行われている外国語授業に役立てるような取組みをしている。小中学校課では、小学校と中学校の連携を密接にしたいと考えており、研修会の機会に小中学校の先生と一緒に場を設ける等して、工夫しているところである。

伊藤委員 そのような先生方の研修は大変ありがたく思っている。その部分をしっかりと児童生徒に伝えてほしい。

山蔭委員 小中学校の連携について、自転車で例えると小学校は補助輪が付いたままの状況であり、中学校に上がる際にその補助輪が外れるような形になる。自立させるために、補助輪の外し方を小中学校で連携してスムーズに進められるようにしたい。

坂本委員 先生方が研修を行うなどして頑張っているのはよく分かった。だがやはり家庭学習の時間が足りないと学力は向上しないのではないか。子どもたちは家庭学習にどれくらいの時間を割けるのか、家庭でどのようなことができるのか、そういったところもこれからもっとつくっていかなければならないところではないか。学校に来てしまえば子どもたちは先生方の指導の下にあるが、家庭ではいろいろな考え方の親御さんがいるので難しいところではあるが、学校の学習だけでは定着しないと思うので、保護者の方や子どもたち自身に分かるように指導していただきたい。

・ 1-(4)-1 特別支援教育について

三井委員 ふれあい共育推進員が 30 名から 43 名に増員になると話があり、大変ありがたい。今後とも、地域の中で障がいのある子どもたちが共に学びたいという要望は強くなっていくと思う。大変かと思うが、そういった受け皿の整理あるいは先生方の専門性の向上といったところも充実していただきたい。

山蔭委員 ふれあい共育推進員は学校現場では有難く活用させていただいている。配慮が必要な生徒が全体の 5.4%いると言われており、花巻市の小学生は 2,800 名ほどなので、計算するとおおよそ 150 名になるが、実際に特別支援学級を利用しているのは半数にも満たない。普通学級の中で支援の必要な子どもたちも一緒に教育しているのが現状であり、その中でふれあい共育推進員の配置は本当に助かっている。

○湯口中学校改築事業基本設計について

質疑なし

○その他

「花巻市いじめ防止等のための基本的な方針（案）」について

質疑なし